

写真で見る 日本人の生活

「お大事に」…病院へ行く

このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している、日本語教育用「写真パネルバンク」を使って、初中等教育機関で日本語を教える先生方が、どのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は、初級の学習者でも読めるようにやさしいものを使っています。今回は、「病院へ行く」に関する写真パネルを集めてみました。

※写真下の（ ）内の数字は写真パネルバンクの中での、この写真の番号です。

病院

日本の病院には大学の付属病院や総合病院のような大きい病院と、「××医院」のような個人で開いている小さい病院があります。

大きい病院は人が多くて待つ時間が長いです。

①はある大きい病院の待合室の写真です。



①

(2-016)

診察

病気になったときによくみてもらうお医者さんのことを「かかりつけのお医者さん」と言います(文末の資料も見てみてください)。

②は病気になった人が診察を受けているところです。



②

(2-018)

保険証など

ほ けん しょう

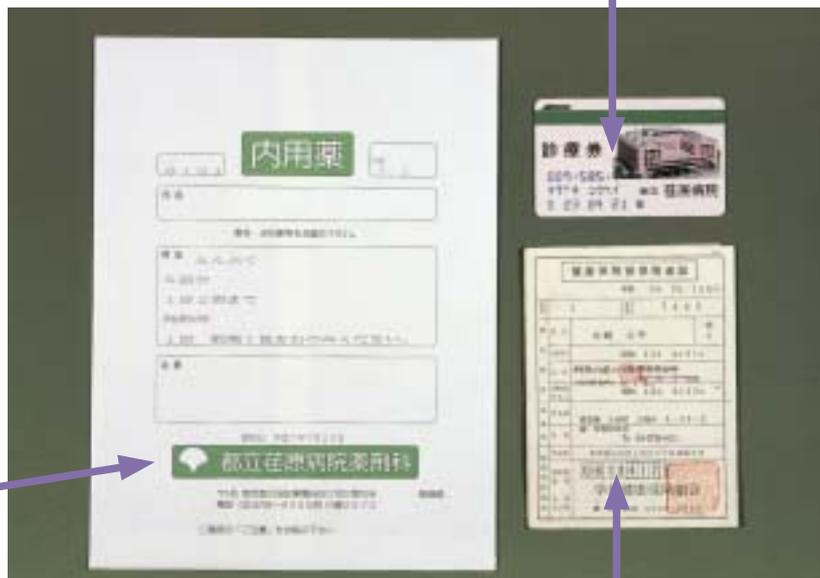
初めて病院へ行くときは、保険証を持っていかなければなりません。ふつう、かかったお金の30パーセントを自分で払います。

二度目に行くときは診察券を持っていきます。

病院でもらう薬は紙の袋に入っています。

薬袋
くすりぶくろ

③



診察券
しんさつけん

保険証
ほ けん しょう

(2-017)

お見舞い

み ま

病院に入院している人に会いに行くことを「お見舞い」と言います。

花を持っていく場合は、根があるものは避けましょう。「根(が)付く」は「寝付く」を思いおこし、病気が長びくと考える人もいます。

病気になった人と別れるときによく使うあいさつは「お大事に」

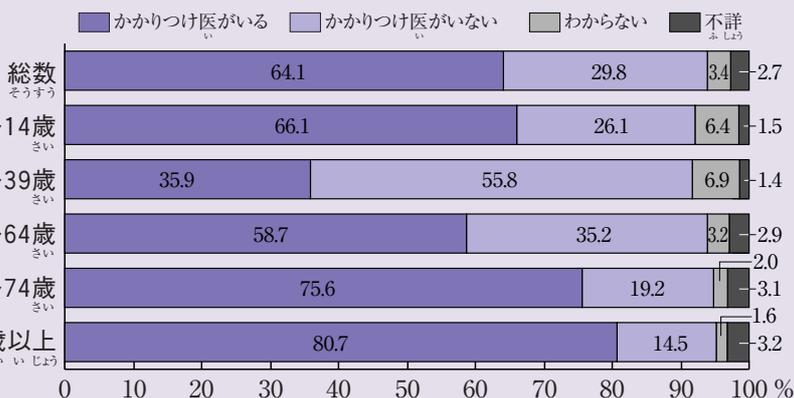
④ です。

(2-021)



資

料



厚生労働省大臣官房統計情報部

こうせいろうどうしやうだいいんかんぼうとうけいじやうほう

平成11年受療行動調査の概要

へいせい ねんじゆりやうこうどうちやうさ がいよう

「かかりつけ医師の状況」より

い し じやうきやう

URLは、2003年11月時点のもの

ねん がつ じでん

<<http://www.mhlw.go.jp/toukei/>

saikin/hw/jyuryo/00/>